

●水辺から始まる生態系ネットワーク全国フォーラム 1月20日に参加しました

その時の感想です 国交省のZoomでの会議を、ミツバチを飼育されている安岡さんと一緒に視聴しました。いすみ市の農林課主査の鮫田さん、そして山陰中央新報社の編集局の舟腰さん、とくしまコウノトリ基金の柴折氏から三つの事例発表があり、それぞれ豊岡のコウノトリが大きな役割を果たして地域に働きかけ影響を及ぼしていることが理解できました。中でもコウノトリが飛来している田圃で生産されたコメが地域の学校給食で使用され、子どもたちが理解し、後継者育成に役立っていること、また生産農家の方々の輪が広がってきていることに驚きました。

●井手町でイタセンパラの復元目指す講演会

光田先生挨拶 大村理事長 経過説明太田敏之理事
そして河合典彦大阪イタセン事務局長から講演を2時間30分頂きました。

前半は淀川の変化、そして後半はイタセンパラの生態と特徴 最後に復元めざし取り組みの指針解説をされました。



●ヤマト（カスミ）サンショウウオ生育池の改修工事について

絶滅の恐れのある生き物25種について京都府の条例では、違反者は1年以下の禁固または50万以下の罰金という厳しいものとなっています。やましろ里山の会は京都府からレンリソウとフナバラソウそれにヤマト(カスミ)サンショウウオの保全団体に指定されています。これまで木津川と普賢寺での保全に力を注いできました。我々のヤマトサンショウウオの調査観察では、卵囊の最も早い発見日は1月16日です。ですから今は少なくともオスは、卵囊が産み付けられる場所に集合している時期であると推測できます。産卵時期は約2月から3月の頃までです。そして水の中で幼生は5月初旬ごろまでエラで呼吸を行い、6月ごろには陸上に上がり池の生活を終わると思われます。その間は可能な限り限られた生育場所の環境を維持されるようにしておくべきだと思われます。しかしこの間に異常降雨や集中豪雨が発生し池の土砂が流出すると稲作に大きな被害が及ぶことになります。どのように対応すべきなのか非常に難しい困難な課題に直面しています。

昨日の事務局会議において最重要課題として論議しましたが、土砂流出防止の水路設置の必要性は理解出来る。また下の池の干上がり防止には導水路も必要だ。そして出口となる水路も必要だ。しかし地主の瀬戸さんは旧水路の復旧でヤマト(カスミ)サンショウウオの生育池の水路の実現までは、お考えになっておられないのが現実だろうと推察されます。里山の会が流入水路や排水水路は下の池にとって必要として施工すれば、万一にも土砂が流出すれば責任が問われることが予想されます。しかし一方責任が問われるような事態にはならないと思うとの意見もあって、大変な難問題に直面しています。またサンショウウオは産卵場所を求めて動き回るからという意見もあって結論が非常に出しにくい状況です。いずれにしても地主の瀬戸さんは迷惑の原因の土砂を撤去し、水路を確保し土砂流出再発防止のための作業を行いたいとのご意向(2月中に実施したい)なのです。里山の会は、最後に府条例での決定でもありますので京都府環境自然課のご指導を得て判断したいと思います。

●竹蛇籠製作で大奮闘いただいていた福井波恵さん、義理のお母さんを自宅で介護され、99歳で逝去されました。ご主人を見送られて1年ですが気落ちされることなく頑張って介護に尽くされ、その合間に竹蛇籠の製作に尽力いただきました。心からご冥福をお祈りいたします。また一日も早く日常生活を取り戻し木津川で待っている魚たちと戯れられる姿をお見せください。期待しております

●地域説明会井手町で、第2日目京都府立勤労者福祉会館で1月22日(土)10時から開催

京都府が大阪と兵庫と足並みを揃えてまん延防止の申請をされる直前の時期に当たり、事務局会議で開催か中止かと大論議になりました。会場は借用できるのか、京都府の保健所の指導は、地元京田辺市の意向は、また新聞での感染者数は日増しに増加し、学校は休校になってきている、商店街では臨時休業の張り紙が出されているなどの情報が重なりました。会議の場では携帯電話で手分けをして 関係機関から最新の情報を集めて判断しました。何よりも三密(密集 密接 密閉)を避ける事、そしてマスク、うがい、検温、手指の消毒、換気の実施ができれば開催は可能だとの方針が強調されたので、安堵してかねての準備通り開催することになりました。

●その後感染者の急拡大は続き、とうとう大阪兵庫京都がまん延防止地域に指定されました。私たちは1月30日に準備を進めています宇治田原町の町民体育館での地域説明会は会場が借用できるのかどうかが大問題であります。不幸なことに借用が不可能になった場合は自動的に中止せざるを得なくなりますので心配していましたが、会場使用は可能との事でありましたので予定通り開催いたします。よろしくご理解をお願いいたします。沢山の皆さん方のご参加をお願いいたします。一部報道機関では開催日が29日とされていましたが30日の誤りでしたので、お間違えのないようお願い致します

●しかし、木津川河川敷で中聖牛の設置や、そのための組立てについては、広い屋外でもあり接触の心配も考えられないので、三密に注意しながら計画通り進め行くことになります。寒さ厳しい季節ですから防寒対策は、各自十分に念を入れてご参加ください。またご参加の場合は、里山の会に参加希望日時 と住所 年齢 連絡方法をお知らせいただきますようお願いいたします。実施日は1月29日 2月5・6、11・12・13、19・20・23日を予定しています。また2月26・27日の2日間で竹蛇籠に栗石を投入して完成させる竣工日としています。この日のご参加を100人と予定しております。すべての実施日の開始時間は、午前9時30分開始で作業終了時間は12時30分と予定しております。精々ご参加をお願いします。



●里山農園のエンドウ豆や玉ねぎ、大根の葉っぱを食われました 付近には兎の糞があちこちに見られました。又大根の葉っぱは鳥がついばんだものだと言われています。隣接する畑の大部分で同様の被害が発生しているようです。玉ねぎは何が食べているのでしょうか？太田さんが無人カメラを取り付けて監視中です。